

神戸港遊覧船の活性化業務 仕様書

1. 業務目的

遊覧船は神戸港の重要な観光コンテンツであるが、近年は乗船者数が減少しており、さらに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時はコロナ禍以前（令和元年）の3割弱にまで落ち込んだ。

令和4年は回復傾向にあるものの、燃料費の高騰をはじめとした物価高の影響や団体旅行客の減少等により、遊覧船の運営を取り巻く情勢は未だ厳しい状況が続いている。

本業務はコロナ後の社会を見据えて、遊覧船コンテンツのさらなる活性化を図り、観光需要の喚起・神戸港の振興を図るものである。

2. 業務期間

契約締結日から令和6年3月31日まで

3. 対象遊覧船

- ・ boh boh KOBE（早駒運輸株式会社）
 - ・ ロイヤルプリンセス（神戸ベイクルーズ株式会社）
 - ・ 御座船 安宅丸（神戸ベイクルーズ株式会社）
 - ・ コンチェルト（株式会社神戸クルーザー）
 - ・ ルミナス神戸2（株式会社神戸クルーザー）
- 計3社5隻

4. 業務内容

（1）遊覧船を活用したイベントの企画及び実施

- ・ 令和4年度に実施した神戸港の遊覧船におけるマーケティング調査とプロモーション事業の結果を踏まえ、各遊覧船事業者と連携し、各遊覧船の魅力を引き出すイベントを企画・実施する。
- ・ イベントの内容については、神戸港遊覧船の現状や課題を認識した上で効果的な取り組みとなるよう、実施時期やターゲット（市民や観光客（インバウンド含む）等）を明確にして実施すること。

※遊覧船の運航事業者は「3. 対象遊覧船」に記載する3社であるが、少なくとも各社1回はイベントを実施すること。なお、イベントの回数や1回のイベントで使用する遊覧船の隻数については制限を設けないが、1社あたりの開催費用については、概ね均等になるようにすること。

- ・ 開催にあたっては、関係機関・周辺施設事業者と連絡調整をすること。
- ・ 参加者・来場者にアンケートを実施すること。

※アンケートの方法・内容は、本市担当者と協議の上、決定したものを使用すること。

(2) プロモーションの実施

- ・市民や観光客の乗船（3社5隻）につなげるためのプロモーションを実施する。
- ・プロモーション内容については、神戸港遊覧船の現状や課題を認識した上で効果的な取り組みとなるよう、実施時期やターゲット（市民や観光客（インバウンド含む）等）を明確にして実施すること。
- ・実施にあたっては、神戸港遊覧船全体の魅力発信となるものにする。
- ・令和4年度に下記のプロモーションを展開しており、これらの結果を踏まえた取り組みを実施すること。特に、①情報発信サイトはプロモーション展開の中心的な役割を果たしているため、これを活用すること。
 - ①神戸港遊覧船情報発信サイト制作・運用 <https://cruise-kobe.com/>
 - ②PR動画の制作（遊覧船ごとの動画、各遊覧船を全て含んだ動画）
 - ③直接的な乗船者増加施策の企画及び実施（各遊覧船の乗船者を直接的に増やすためクーポン割引を実施。割引に係る費用は委託費用に含む。クーポン配信のためLINEアカウントを開設。）
 - ④広告宣伝（デジタルサイネージ広告、SNS投稿、SNS広告、WEB広告等）
 - ⑤再乗船促進のための効果検証（乗船者へのアンケートの実施）
- ・実施後は効果検証を行うこと。

5. 成果品

(1) 報告書

- ・電子データ（CD-R）1部【ファイル形式：ワード、エクセル、PDF】

(2) 広告物データ（作成した場合）

- ・プロモーション事業において動画やポスター等の広告物を作成した場合は、制作データをメディアにて納品すること。

6. 著作権等

プロモーション事業の中で撮影した映像・写真素材及び成果物の著作権については、神戸市港湾局に帰属するものとする。

7. その他

- ・乗船者へのアンケート等を実施する場合は、各遊覧船事業者と協議の上、実施すること。
- ・実施にあたり、神戸港クルーズ船ポータルサイト：CRUISE KOBE (<https://cruise-kobe.com>) 及び神戸港遊覧船公式LINEアカウントを使用できる。
※LINEアカウントの使用（メッセージ送信やクーポン配布等）には別途経費が必要。